

米国株を徹底解説!  
広瀬隆雄の米国株市場の相場見通しと  
注目銘柄アップデート!

開催日：2022年8月12日（金）夜8時

講師：広瀬隆雄

## ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

## 【レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点】

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

## 【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.495%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：22米ドル（税込）

中国株式 約定代金の0.275%（税込）・最低手数料：550円（税込）・上限手数料：5,500円（税込）

アセアン株式 約定代金の1.10%（税込）・最低手数料：550円（税込）・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

- 米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

# ETF/ETNのリスク（抜粋）

## 【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

## 【ETFにおける信用リスク】

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

## 【ETN発行体の信用リスク】

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

## 【早期償還等のその他のリスク】

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合などは、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

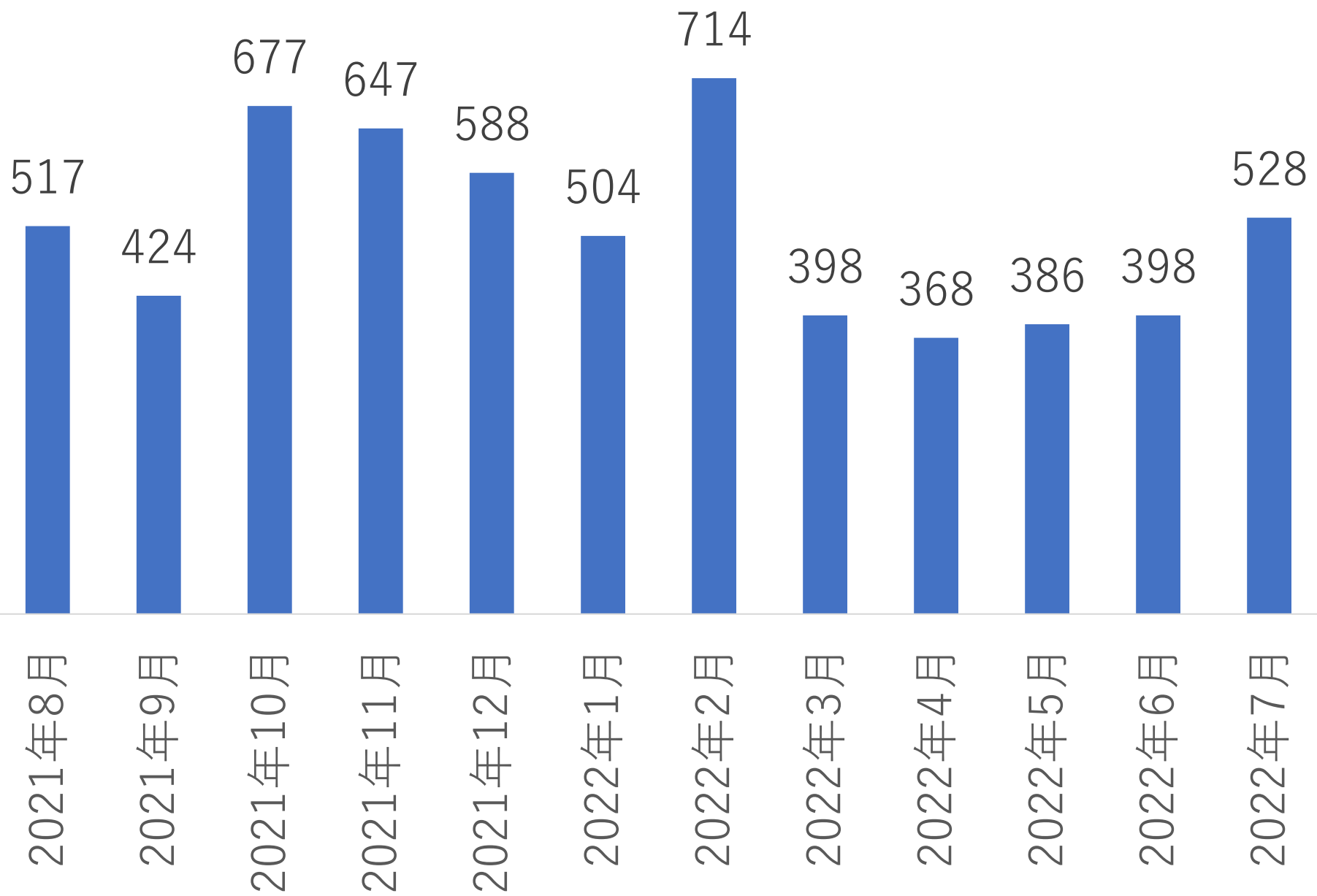
# 今日お話しすること

- 米国経済の現状
- 第2四半期決算のハイライト
- 参考銘柄
- 質疑応答

# 米国経済の現状

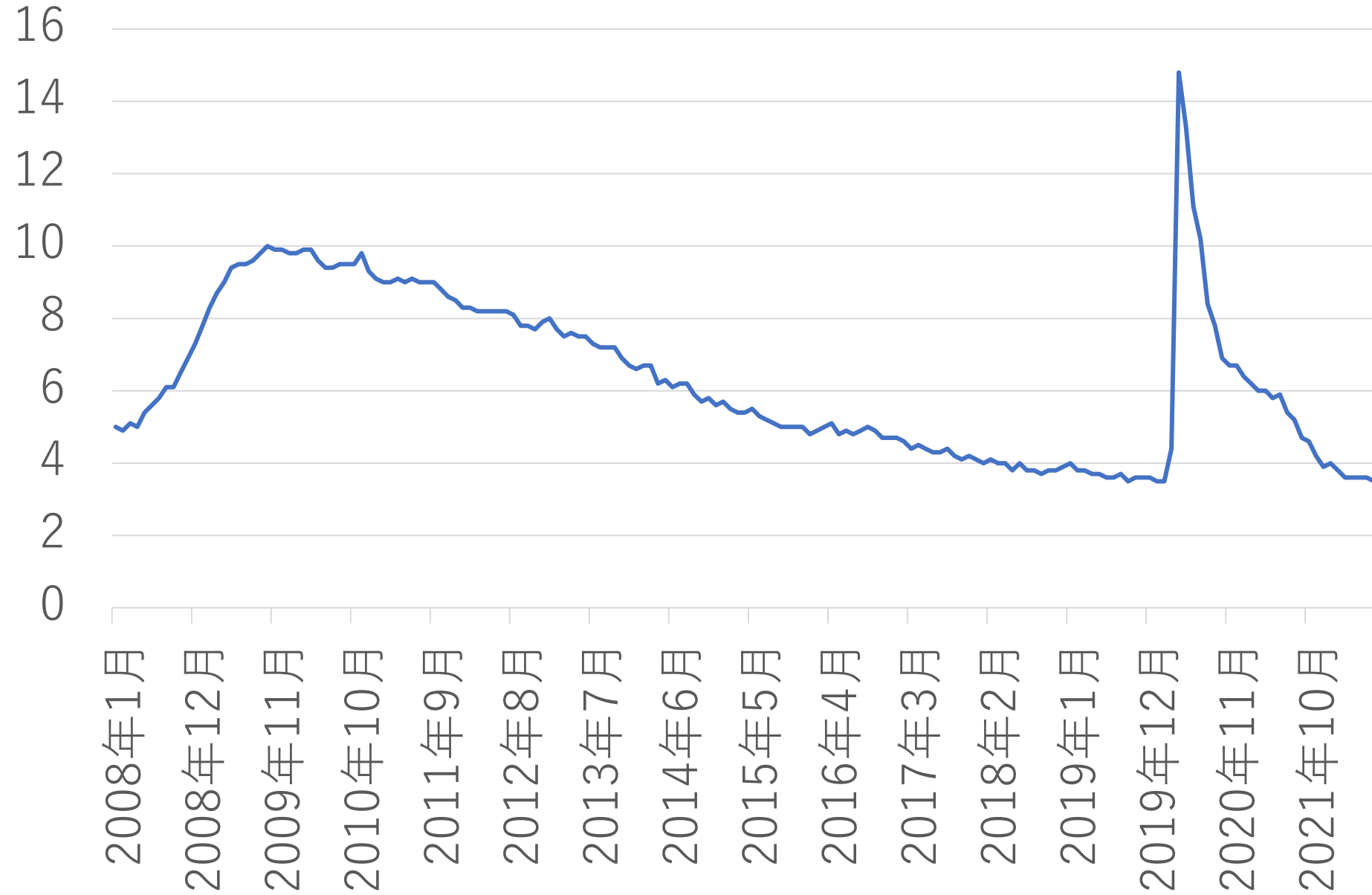
- 雇用は強い
- 賃金は上昇中→消費者物価指数には劣後
- 鉱工業生産高は高水準
- 連邦準備制度理事会（FRB）は粛々と利上げを継続

# 非農業部門雇用者数（千人、労働統計局）

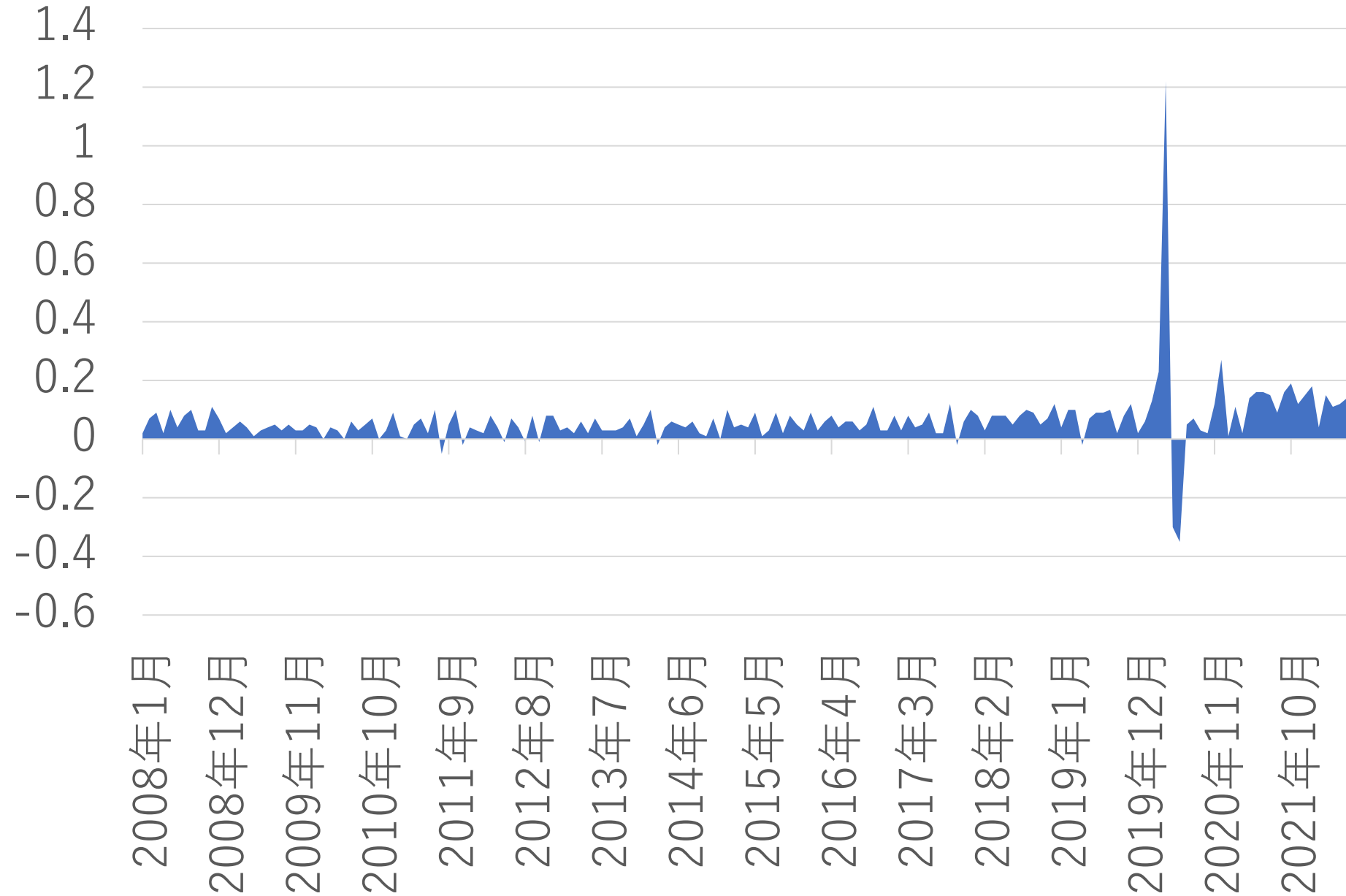




# 失業率（%、労働統計局）

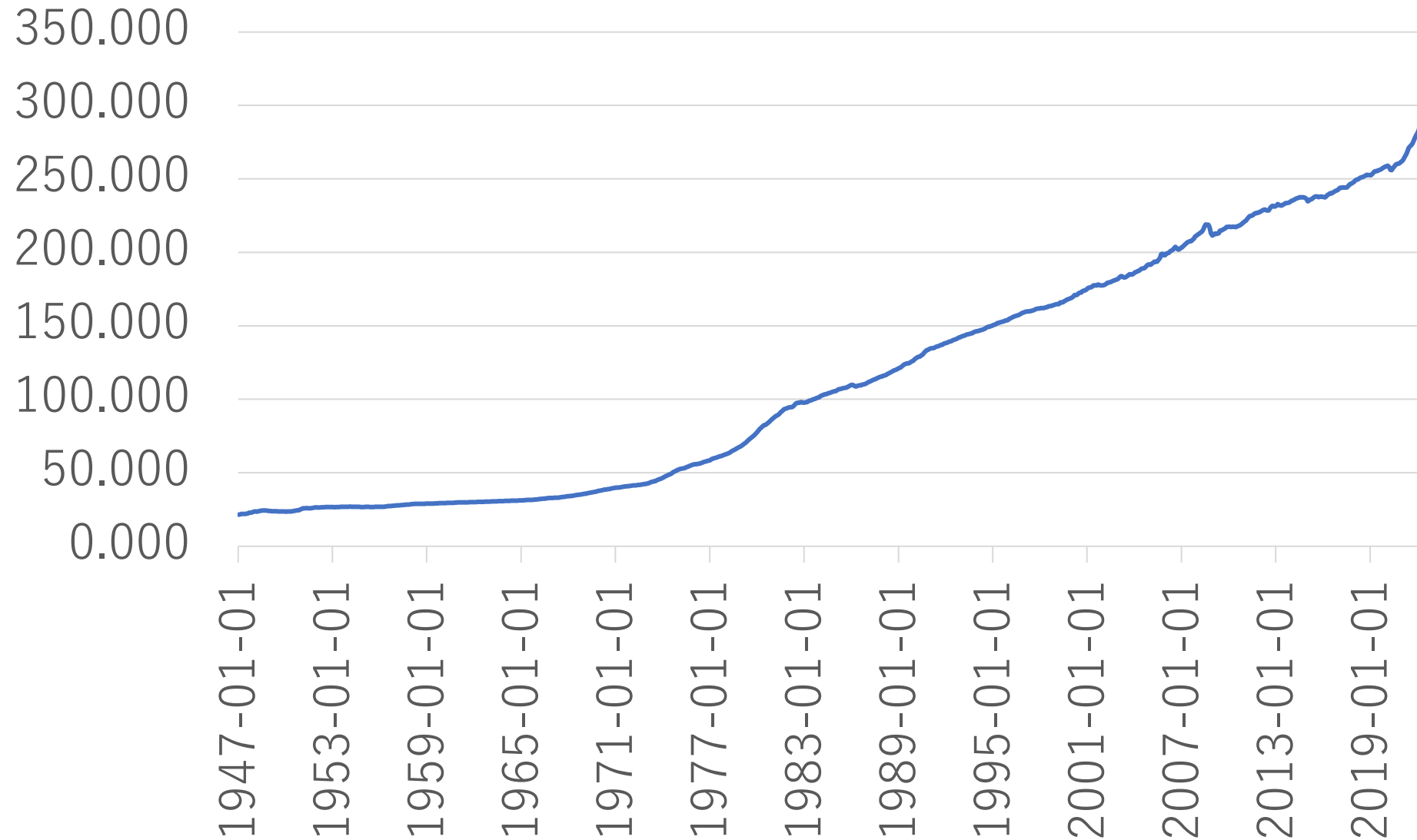


# 平均時給（ドル、前月比、労働統計局）



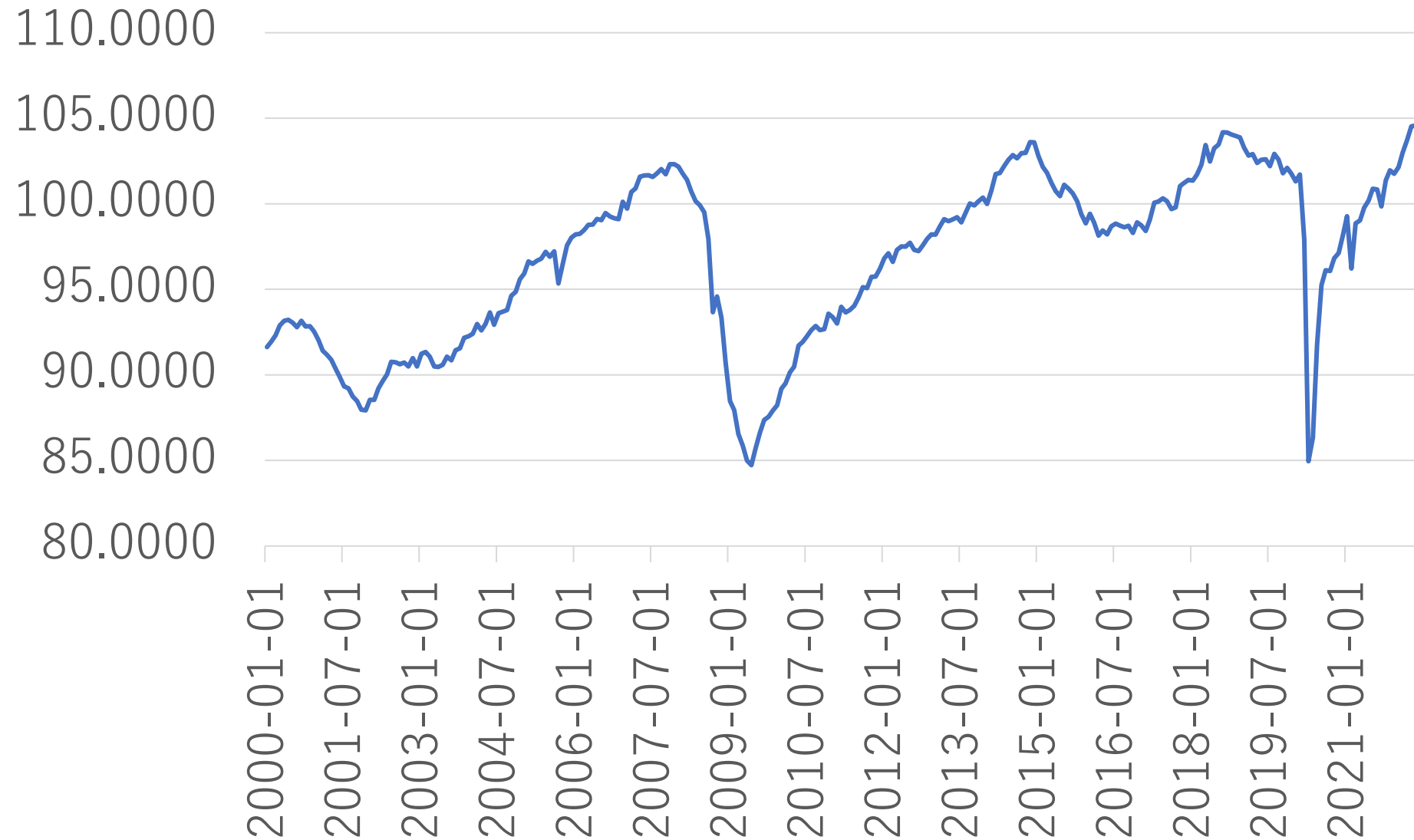
# 消費者物価指数

(1982年を100、セントルイスFRB)



# 鋳工業生産指数

(2017年を100、セントルイスFRB)



# 第2四半期決算のハイライト

- スナップ
- メタ
- アルファベット
- アマゾン
- アップル
- マイクロソフト
- エクソンモービル
- シェブロン
- パイオニアナチュラルリソーセズ
- ダイヤモンドバック

# スナップ (SNAP)

- EPS予想 - 3¢、結果 - 2¢
- 売上高予想11.4億ドル、結果11.1億ドル、前年比 + 13.1%
- デイリー・アクティブ・ユーザー前年比 + 18%の3.47億人
- 広告市場不透明感 → ガイダンス提示せず
- TikTokからの競争、iPhoneの個人情報仕様変更、シリコンバレー不況でテクノロジー企業を中心に広告を絞り込む動き

# メタプラットフォームズ (META)

- EPS予想\$2.55、結果**\$2.46**
- 売上高予想289.5億ドル、結果**288.2億ドル**、前年比-0.9%
- デイリー・アクティブ・ユーザー数+3%
- 第3四半期売上高予想303.8億ドルに対し新ガイダンス**260~285億ドル**
- 経済見通し暗転で広告需要弱い→足下は更に悪化→インスタ広告も不振
- リアリティラボ売上高も前期比マイナスを予想
- 先行投資を絞る

# アルファベット (GOOG)

- EPS予想 \$ 1.27、結果\$1.21
- 売上高予想698.7億ドル、結果696.9億ドル、前年比+12.6%
- YouTube広告売上高前年比+4.8%の73.4億ドル→先行き不透明で広告主が絞り込み
- クラウド売上高前年比+35.6%の63億ドル
- 第3四半期は第2四半期よりさらに悪化を予想
- 採用を絞り込む



# アマゾン (AMZN)

- EPS予想12¢、結果-20¢ →リビアン評価損39億ドルを含む
- 売上高予想1191.6億ドル、結果1212.3億ドル、前年比+7.2%
- AWS売上高前年比+33%の197.5億ドル
- 広告売上高前年比+18%の87.6億ドル
- 第3四半期売上高予想1265.8億ドルに対し新ガイダンス1250～1300億ドル
- 配送センター費用削減、配達時間短縮、在庫あり増やすことに成功

# アップル (AAPL)

- EPS予想 \$ 1.15、結果\$1.20
- 売上高予想8297億ドル、結果8296億ドル、前年比+1.9%
- iPhone売上高予想383億ドル、結果406.7億ドル
- iPad売上高予想69億ドル、結果72億ドル
- Mac売上高予想88億ドル、結果74億ドル
- ウェアラブル売上高予想90億ドル、結果81億ドル
- サービス売上高予想199億ドル、結果196億ドル
- 部品供給不足は予想より酷くなかった
- 第4四半期売上高は前年比+9%を見込む

# マイクロソフト (MSFT)

- EPS予想 \$ 2.29、結果\$2.23
- 売上高予想523.6億ドル、結果518.6億ドル、前年比+12.4%
- 全ての部門で売上高ガイダンス下回った
- クラウド売上高前年比+28%の250億ドル
- アジュール売上高前年比+40%
- 中国新型コロナでPC生産遅れウィンドウズ不振
- リンクトイン、サーチ広告減少
- ウクライナ戦争でロシア売上減

# エクソンモービル (XOM)

- EPS予想 \$ 3.89、結果\$4.14
- 売上高予想1116.7億ドル、結果1116億ドル、前年比+70.8%
- 営業キャッシュフロー200億ドル
- パーミアンでの生産を13万バレル/日増やした
- ガイアナでは34万バレル/日生産中
- 精製マージンは良好

# シェブロン (CVX)

- EPS予想 \$ 5.03、結果\$5.82
- 売上高予想576.9億ドル、結果687.6億ドル、前年比+82.9%
- 米国上流は前年比+3.6万バレル/日の117万バレル/日
- 川下部門利益は24.4億ドル、前年同期7.76億ドル

# パイオニア ナチュラルリソースズ (PXD)

- EPS予想 \$ 8.80、結果\$9.36
- 売上高予想68.2億ドル、結果69.2億ドル、前年比+102.4%
- スチール、ディーゼル、化学製品コスト増→設備投資額増

# ダイヤモンドバック エナジー (FANG)

- EPS予想 \$ 6.67、結果\$7.07
- 売上高予想24.4億ドル、結果27.7億ドル、前年比 + 64.7%
- 原油生産高前年比 ± 0%
- 一株当り営業キャッシュフロー前年比 + 37%

# 参考銘柄

- ボーイング
- ゼネラルエレクトリック
- レイセオンテクノロジーズ
- KBR
- ユーロナブ



# ボーイング (BA)

- 民間旅客機、軍用機、グローバル・サービス、ボーイング・キャピタル
- 737Max欠陥問題、新型コロナで旅客需要激減
- 従業員14万人、うち5万人が労働組合員
- 737Maxは2019年3月に連邦航空局 (FAA) から飛行中止命令
- 顧客からのクレーム総額は29億ドル、うち7億ドルは交渉中
- 第2四半期EPS予想 - 10 ¢、結果 **- 37 ¢**
- 売上高予想175.3億ドル、結果 **166.8億ドル**、前年比 - 1.9%
- 737Maxは31機/月のペースで生産、787出荷承認された

# ゼネラルエレクトリック (GE)

- 三分社化→ジェットエンジン、ヘルスケア、風力・火力発電
- 純負債120億ドル = 2X EBITDA
- サム・オブ・ザ・パーツ (SOTP) 分析では125ドル前後の価値があると考えられているが、投資家からの信用を失ったのですぐに評価を取り戻すとは考えられない
- 第2四半期EPS予想42¢、結果78¢
- 売上高予想179億ドル、結果186.5億ドル、前年比+2.2%

# レイセオンテクノロジーズ (RTX)

- 最大の工業会社（時価総額ベース）
- コリンズ（航空工学・電子機器など）、プラット&ホイットニー（ジェットエンジン）、情報宇宙、ミサイル
- EPS予想 \$ 1.11、結果\$1.16
- 第2四半期売上高予想166.1億ドル、結果163.1億ドル、前年比+2.7%
- 2022年EPS予想 \$ 4.77、ガイダンス \$ 4.60～4.80を堅持、売上高予想682.9億ドル、ガイダンス677.5～687.5億ドルを堅持

# KBR (KBR)

- 素材科学、生命科学的研究、地質学、宇宙オペのサポート、サイバーセキュリティ、クアantumコンピューティング
- アメリカ国防総省、アメリカ航空宇宙局、ロンドン警視庁、石油会社などが顧客
- 第2四半期EPS予想65¢、結果76¢
- 売上高予想16.4億ドル、結果16.2億ドル、前年比+5.2%
- 2022年EPS予想\$2.61、ガイダンス\$2.53~2.65を堅持、売上高予想66.2億ドル、ガイダンス64~68億ドルを堅持

# ユーロナブ (EURN)

- ライバルのフロントライン (FRO) と合併に合意→EURN1株に対しFRO1.45株の株式交換 = ユーロナブ株主が55%、フロントライン株主が45%
- トンマイル上昇中
- 中古タンカー市況強含み
- 石油輸出国機構 (OPEC) が大增産に踏み切らないため米国からの原油輸出は継続→拡大へ

# 質疑応答